

2011年
6月13日

発行 日本共産党流山市議団

電話・ファックス

715716140

大震災から3ヶ月。被災地・被災者を支える政治の役割が問われている中、「不信任案」や『大連立』など国民はもとより被災者そっちのけの国会に、不満が広がっています。世界ではスイス、ドイツに続きイタリアの国民投票でも原発からの撤退が示されました。

一方、6月市議会は、改選後初めての本格議会。災害や放射能への取り組みが問われます。また各党・会派、各議員がどんな発言をするのか注目です。

わが党が提案している災害対策や放射能汚染に対する特別議会設置は「必要性は認める」とし、6月議会後に再度協議することになりました。市民から「二元代表制らしく早く設置してほしい」「議員の本気度が問われている」などの声が聞かれています。

初議会となる植田議員も質問します。ぜひ多くの方の傍聴をお願いします。

会期 6月15日～7月6日 21日間

(議案9件、陳情1件・意見書7件他)

6月 15日(木) 本会議 午後1時開議

21日(火) 23日(木)

一般質問 午前10時～

24日(金) 一般質問 午前10時～

一般質問終了後、各委員会に議案を付託

27日(月) 総務委員会

28日(火) 教育福祉委員会

29日(水) 市民経済委員会

30日(木) 都市建設委員会

7月 5日(火) 本会議 午後1時開議

議案・請願・陳情・意見書など採択

一般質問

いぬい紳一郎議員 6月23日(水) 午後10時半頃

1、市長の政治姿勢について問う

① 東日本大震災はわが国のあり方を鋭く問うものとなっているが、市長の基本的認識を問う。

② 原発ゼロへ、市長の見解を問う。

2、災害に強いまちづくりについて

① 大震災時にどう対応したのか

② 防災計画の強化や公共施設の耐震化など、福祉と防災のまちづくりなど。

3、介護保険法について

① 要支援者から従来のサービス(保険給付)を取り上げるべきではないと考えるがどうかなど。

4、三輪野山地域の浸水被害と大規模道路計画から、住民の安全と住環境をどう守っていくのか。

植田和子議員 6月23日(木) 午後1時半頃

1、原発事故・放射能汚染から市民の命とくらしを守る対策について

- ① 防災計画に放射能汚染対策を位置づけるべきだがどうか。
- ② 放射能に対する啓発・学習活動について。
- ③ 蓄積されている放射能対策として、医療体制を充実すべきだがどうか。
- ④ 学校などの除染に対する補償を国や東電に求めるべきではないか

2、通学路の安全対策について

① 通学路における事故防止対策について。

② 江戸川台4-190地先交差点に信号機設置などの安全対策について。

徳増きよ子議員 6月23日(木) 午後2時半頃

1、大震災で浮き彫りとなった諸問題について

① 市内へ避難している状況について。

② 軟弱地盤における対策について。

③ 放射能汚染等の処理対策について。

2、生活保護について

① 国に対し、生活保護費やケースワーカーの人員費負担を求めるべきではないか。

3、まちづくりについて

① 向小金地域の歩行者安全対策について。

② 名都借故戦況の耐震化を促進すべきだがどうか。

③ 向小金・前ヶ崎ルートのぐりーんバスについて

④ 野々下2号雨水幹線の進捗とユスリカ対策など

小田桐たかし議員 6月23日(木) 午後4時頃

1、市長の政治姿勢について

① 防災証明制度について。

ア、証明書の発行と制度の周知について
イ、税や保険料の軽減策について
ウ、住まいの耐震化策について

② 相馬市への支援について。

③ おおたかの森駅周辺の災害避難場所確保について。

2、教育行政について

① おおたかの森地区の小中併設校計画について。

② 西初石中学校・常盤松中学校の学校給食は直営方式として、大きな成果をあげているが、当局の見解を問う。

3、保育所(園)の待機児童対策などについて。

放射能汚染から 子どもを守れ

ぜひ傍聴にお出
かけください

市議会議員

いぬい紳一郎
(7159-2773)

市議会議員

小田桐たかし
(7154-0878)

市議会議員

徳増 きよ子
(7148-6871)

市議会議員

植田 和子
(7154-0288)